

広報

とくべ



2009

10

October

●特集 行財政システム再構築プラン その検証

世界一臭い食べ物 スールストロミング試食会 9月13日

行財政システム再構築プランその検証

住民参加や財政基盤の健全化を柱として平成17年度から4年取り組んできた再構築プランの実績をお知らせします。

1 プラン策定の背景とその意義

「当別町行財政システム再構築プラン」は、①分権型社会に対応した自主・自立のまちづくり、②少子高齢化に対応した施策の見直し、③住民との協働によるまちづくり、④健全財政に向けた立て直しを行うため策定されました。

プランの実施により、広く町民に町政参加を促す「当別町 協働の指針」の策定など、町民の皆様のご理解のもと協働のまちづくりを進めた結果、開かれた町政の実現に加え、懸念されていた財政運営の危機を乗り切ることにもつながりました。

財政状況の改善

■プラン策定前の財政見通しでは、平成17から20年度の4年間で22億8千万円の赤字

一丸となって、プランの実施

■具体的な削減取組

- ①職員等の給与の削減、退職者の不補充
5億1,935万円
- ②議会議員、農業委員会委員の定数削減
1,900万円
- ③議会政務調査費の凍結
413万円

などの行政内部の改善努力により22億8,000万円のほとんどを解消。

■住民負担の増加(主なもの)

- ・市街地生活道路の排雪負担
市街地の一世帯あたり 2,800円
- ・家庭ゴミ処理の有料化 1戸当たり2円など

これらを住民一人当りに換算すると
年額 2,300円相当の増加

■プランの着実な実施により

- ①4年間の全ての年度で赤字を回避
- ②財政再生団体になることを回避となりました。

もし、プランを実施しなければ・・・

プラン策定前の一般会計の見通し 単位：百万円

区分	H17	H18	H19	H20
歳入	9,088	8,936	8,503	8,514
歳出	9,589	9,727	9,147	8,855
単年度収支	▲ 501	▲ 791	▲ 644	▲ 341
累積収支	▲ 501	▲ 1,292	▲ 1,936	▲ 2,277

累積収支で赤字額が増える結果に

自主的な行政運営ができなくなる

■その場合の住民生活の影響は・・・

- ・住民税の増額 一人当たり 7,900円
 - ・固定資産税の増額 同 7,300円
 - ・軽自動車税の増額 一台当たり 3,600円
- ほか、各団体への事業費補助、町内会館運営費補助や街路灯維持費(電気料)の補助も困難になったと試算されます。

2 プランで達成した主な内容

具体的な取り組み事項は160項目に及びその90%、144項目を達成できました。

①「住民参加の推進」

住民と行政が協働で地域の課題を解決するための「当別町『協働の指針』」の策定や、ごみ減量化の推進、ファミリーサポートセンター事業の実施、共生型地域福祉ターミナルや地域オープンサロンへの支援、パブリックコメント（意見公募）・パブリックインボルブメント（住民参画）制度の導入などを達成。

②「事務事業の見直し」

町民サービスの向上を目指しながらも業務の効率化、簡素化を進める「庁内LANシステムの構築」や民間、社会福祉協議会への委託の拡大など民間委託を達成。

また、公共施設の再編では、学校・幼稚園・保育所の統合や幼保一元化に向けた民間活力の導入、プールや公民館の廃止、さらには、社会経済情勢の変化に対応した地域交通体系の見直しによるコミュニティバス実証運行事業の実施や、生活道路排雪費用の一部町民負担の導入、団体運営費補助を廃止し、事業費補助への転換を達成しました。

景気低迷による歳入の伸び悩みや地方交付税の落ち込み、公債費償還のピークを迎えるなど、厳しい町財政のもとで、公共事業の見直しを図り、新規施設建設事業の抑制や事業内容・期間の見直しなども達成しました。



③「行政組織の見直し」

行財政改革の理念のもと、町民サービスの低下を招かないよう配慮しながら部・課・係の統廃合や職員の定員管理適正化計画の策定及び職員数の削減（27名削減）を達成。

特別職・一般職の給与抑制や新規職員の採用抑制などを達成しました。

④「財政基盤の健全化」

税の公平負担と受益者負担の適正化を図るため、滞納処分の実施や都市計画税の新地区賦課の検討・決定、国民健康保険税の税率の見直し、公共施設使用料・減免制度の見直し、下水道使用料の改定、住民票の写しなどの交付手数料の改定、ゴミの有料化などを達成。

財政収支のバランスを取るため、長期借入金の抑制による町債残高の減少（4年間で26億円減少）や公債費・一時借入金の抑制などを達成。

3 重点施策の取り組み

戦略的でより緊急度の高いものを中心とした重点施策も達成できました。

①「美しいまちづくり」

町民一人ひとりが、次世代へ継承していきけるような魅力ある美しい景観の創出を目指す「景観形成基本計画」「景観計画」の策定や景観行政団体への移行、景観スポットの認定、美しいまちづくり推進補助金の交付、優良田園住宅の促進、当別移住促進協議会の設立などを実施。

②「バス交通体系の確立」

町・大学・病院と各企業が一体となったバス運行の効率化を図り、利便性の高いバス運行と各事業者が負担する運行管理費の軽減を図る、当別町コミュニティバス実証運行事業の実施や地域公共交通活性化協議会の設立、「地域公共交通総合連携計画」の策定などを実施。

③「情報通信基盤の整備」

住民ニーズを反映できる情報通信環境の整備や国や道が進める情報化施策に参画するため、北海道電子自治体共同システムの申請書ダウンロードサービス及び電子申請手続の開始、地域情報化計画の策定などの取り組みを実施。

④「子育て支援の推進」

安心して子どもを産み育てられる環境づくりや地域で子育てを応援できる体制づくりを推進するため、保育ボランティア「とうべつせわやき隊」と協働した子育て支援



事業の充実やファミリー・サポート・システム事業の実施、保育所の統合、「幼稚園・保育所計画」の策定、幼保一元化に向けた民間活力の導入などを実施。

⑤「少子高齢化に対応した健康づくりの推進」

少子高齢化社会の到来に備えた「地域福祉計画」の策定、地域に密着した一貫性・連続性のある予防事業の展開や介護保険の安定的な運営をめざす「介護保険事業計画」の策定、「とうべつ健康プラン21」を基本とした健康づくり施策の展開などの実施。

⑥「農業生産組織及び農産物加工・開発への支援」

農業生産組織の自立を支援するため、また、農業者自らが企業との連携による加工品の開発・販売による経営の安定・所得の向上をめざすなど高収益作物・地産地消作物の推進や強い農業づくり交付金の活用、農産物加工に必要な備品の導入、「当別産ブランドを考える会」の設立などを実施。

⑦「文化創造と情報発信拠点の創出」



文化・芸術活動を支援し、賑わいの創出による町の活性化を図る「ふれあい倉庫」の建設、運営・物販業務の開始、農商工が連携したふれあいホール運営協議会の設立による農産品や特産物の販売とPR、町の観光案内など情報発信拠点としての整備などを実施。

⑧「北海道医療大学との連携と商店街の活性化」

学生の町内居住の促進、地域活動と商店街の活性化を図るため、「はればれとうべつ健康プラザ」への支援・協力、「当別学講座」の共催実施、青少年活動センター「ゆうゆう24」や学生開催イベントへの協力、コミュニティバスの連携運行、農家ステイ事業を実施。

⑨「都市計画事業の推進」

市街地の迷路的な道路の解消と基軸となる幹線道路網の整備を図るため、当別幸町土地区画整理事業の実施、中央通・北栄通道路改良工事の実施、町道本通線道路改良工事を実施。

当別町行財政システム再構築プランは、その着実な実施により一定の効果を上げました。しかし今後も少子高齢化や地方分権の推進など、町を取り巻く情勢は益々厳しさを増し、決して楽観視できる状態ではありません。今後も町民皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

山内秀治氏が新しく教育長に就任

9月30日付けを持って高橋^{ただし}義教育長が退任し、10月1日か
ら山内^{ひではる}秀治氏が教育長に就任しました。

就任のごあいさつ



山内 秀治 氏

10月1日付けで、当別町教育委員会教育長を拝命致しました。誠に光栄でありますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。これまでの経験を生かしながら、当別町の教育行政の推進に誠心誠意努力して参る覚悟でありますので、皆様の温かいご支援と、格別なるご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

【略歴】昭和47年3月北海道教育大学札幌分校卒業、昭和47年5月湧別町立湧別小学校教諭、石狩町立高岡小中学校教諭、教育局指導主事等を経て北海道教育庁後志教育局生涯学習課長、平成15年4月当別町立西当別小学校校長、平成21年3月千歳市立千歳小学校校長を最後に退職。

退任のごあいさつ



高橋 義 氏

この度、2期8年にわたる教育長職を退任致しました。

就任以来、教育内容の充実発展、教育条件整備に微力ながら努めて参りましたが、多少なりとも当別町の教育に役立たせていただきましたことを光栄に思うとともに、様々な面でご協力、お力添えをいただきました町民、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

今日、少子化、価値観の多様化などの流れの中で、多くの教育課題が生じてきておりますが、豊かな未来のためにも、町民一体となって教育の充実発展に取り組んでいかなければならないものと考えております。

今後とも、教育行政への一層のお力添えをお願いし、退任の挨拶と致します。

第45回衆議院議員総選挙開票結果・当別町開票区

当日有権者数 15,378人

【小選挙区】

投票総数 11,865人 無効票 229票

投票率 77.16% (届出順)

届出政党	候補者氏名	得票数(票)
	はたの泰紀	187
民主党	小林ちよみ	5,908
自由民主党	町村信孝	5,541



【比例代表】

投票総数 11,863人 無効票 306票

投票率 77.14% (届出順)

名簿届出政党等名称	得票数(票)
幸福実現党	78
公明党	1,303
新党大地	1,140
自由民主党	3,188
日本共産党	935
新党本質	26
社会民主党	336
民主党	4,551

当別を想う気持ちに感謝 「ふるさと納税」

平成 20 年度に頂いた
寄付の状況

38 件
980 万 5 千円

平成 20 年 9 月からスタートした当別町ふるさと納税には、当別町出身の方々をはじめ、当別を応援したいという多くの皆様から予想を上回るご寄付をいただきました。

お寄せいただいた寄付金は、当別町まちづくり基金に積み立て、美しい景観づくりや地域ブランドづくりなどの個性豊かなまちづくりを推進する事業に活用させていただきます。

◆担当 企画課企画振興係（☎23 - 3042）

今年度にふるさと納税を活用して実施する取り組み

1 地域ブランドづくりの推進 42 万 9 千円

当別で生産された加工品等を積極的に町外へ PR するために、首都圏等でプレゼンテーションを行います。また、当別ブランドの認知度向上のためのオリジナル包装紙、紙袋の製作、さらに農商工連携による特産品開発や魅力ある観光地づくりのためのモニターツアーや町内事業者、町民の意識啓発のためにセミナーを開催します。

2 軽トラマーケット 40 万 3 千円

当別町の農産物の認知度向上と販売促進を目的に、8 月 29 日（土）札幌市厚別区「ふれあい広場あつべつ」会場他 2 箇所において、とうべつ軽トラ・マーケットを開催しました。

会場では、生産者への信頼と当別産農産物が高く評価され、出店依頼の電話をいただくなど、着実に成果をあげています。（関連 7 ページ）

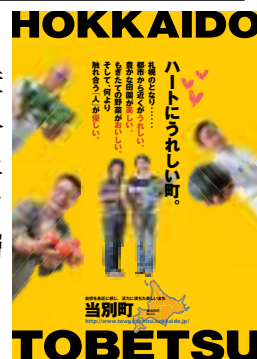
3 とうべつ市場 in 宇和島 39 万 6 千円

9 月 25 日から 26 日に姉妹都市宇和島市へ出向き、とうもろこし、じゃがいも、ミニトマト、ジュースなど加工品の試食を交え海の駅「きさいや広場」において販売しました。

食糧基地北海道を代表する当別町の安全・安心の野菜や特産品 PR に努めました。

4 当別町の PR 312 万 5 千円

「当別町」と「当別産の農産物・農産加工品」を町外、道外の多くの方々に知っていただくために、ポスター・パンフレットなどを作成し、より一層の PR に努めます。



5 HUG マートへの出展 78 万円

昨年 12 月、札幌市の狸小路にオープンした道産品アンテナショップ「HUG マート」に当別町で生産された農産物、加工品を出品するとともに、当別町 PR 動画の放映・パンフレットなどを設置し、当別町の知名度向上、農産物、加工品の PR に努めています。

6 記念品の贈呈 35 万 7 千円

町外在住で 1 万円以上のふるさと納税をいただいた方々に感謝の気持ちを込め、当別産の農産物・農産加工品をお贈りします。



今年も好評！軽トラ・マーケット

当別産の新鮮な野菜を札幌市民へPRしようと昨年に引き続き、今年も“とうべつ軽トラ・マーケット”を開催しました。今年は、8月29日（土）に「ふれあい広場あつべつ」（写真①～③）、9月6日（日）に「ねんりんピック北海道・札幌2009つどーむ会場」（写真④）、9月13日（日）に「あさぶ亜麻そばまつり」（写真⑤）の3つの会場で開催し、当別産の新鮮な野菜を大いにPRしました。



今年度の軽トラ・マーケットは、3つの会場で延べ42戸の農家さんが出店し、自慢の農産物を販売しました。販売以外にも、消費者のニーズに応えようと軽トラ・マーケットや当別町のイメージに関するアンケートも実施しました。今回の事業を活かし、これからもさまざまな取り組みを通して当別の知名度アップと新鮮野菜、特産品をPRしていきます。

▼担当 農林課農務係（☎23-3091）





1日合同相談所を 開設します！！

町内の専門相談員による各種合同相談会を開催します。

日ごろから気になっていることや、行政に対する意見などがありましたら、ぜひこの機会にご相談ください。

■日時 10月22日(木)
13時～16時

■場所 ゆとろ(西町)

■相談料 無料

※事前に予約することもできます。

※当日は直接会場にお越しください。

※相談者のプライバシーは守られます。

■詳細 広報広聴係(☎23-3069)

内容	相談者
行政相談 行政・国の行う業務に対する要望、意見など	行政相談委員 秋場 信一さん 古谷 陽一さん
相続・不動産登記 司法書士業務など	司法書士 橋本 俊一さん
心配ごと相談 生活、悩み相談など	専門委員 二ノ宮 隆精さん
人権相談 家庭、近所のもめごとなど	人権擁護委員 菅 純子さん
消費相談 契約トラブルなど	相談員 松田 友美さん

当別町政策評価委員会

開催しました

当別町行財政システム再構築プラン推進委員会

政策評価委員会は、町が実施する施策、事務事業を住民の視点から評価・点検をするための委員会で、9月1日に今年度第1回目の委員会を開催しました。

委員会では、町長から江口委員長に対し諮問書を手渡した後、今年度の政策評価の基本方針とスケジュールを説明しました。

また、再構築プラン推進委員会では、平成17年に策定した当別町行財政システム再構築プランの4年間の推進実績を報告し、それに対しての質問や意見が委員から出されました。

政策評価委員会開催時の資料および次回の政策評価委員会の開催日程等は、町のホームページに掲載しています。

▼問合せ 企画振興係(☎23-3042)

役職	氏名
委員長	江口 正尊
副委員長	目黒 敏弘
委員	坂本 千鶴
	宮中由香里
	鈴木 智久
	纈纈 政春
	杉山 和美



シリーズ

当別この逸品 その2

町内のこだわりの味をレポートします



ノースグラウンド

きいろい コーンの
しあわせ スープ

味が濃いのは、元気のしるし。

おいしさを全国へ売るために



高岡のとうきび畑で説明する工藤重成社長

建設業を町内で営む工藤重成社長は、公共工事の削減など業界が厳しさを増す中、当別の基幹産業である農業に着目し、出した答えが、農産物加工を行う「農業法人ノースグラウンド」の設立です。「5年前、工夫を凝らしてコーンスープに取り組んでいる農家がありました。これであれば子どもからお年寄り、そして美容に良いとされるサケのコラーゲンを添加することで女性にも食べてもらえるのではと思いつき、パッケージも工夫しブランドイメージを作りました。」

味来（みらい）は皮が柔らかく甘さの強いフルーツのようなとうもろこし。除草剤を

使用しない高岡の農場で収穫した未来は、添加物を使うことなく加工され、東京の有楽町にあるどさんこプラザ、札幌市内のデパートやHUG マートで販売されています。東京で評判のコーンスープですが、さらに全国へ市場を拡げるにはコストダウンが課題といい、商品のハーフサイズ化やブロッコリーなどの野菜を使ったスープも試作したと言います。

とうもろこしを収穫する今が加工の最盛期。キャッチフレーズの「当別濃菜^{こいさい}」には当別産野菜の安全・安心に対する自信があふれています。

▼ノースグラウンド（若葉 ☎ 23 - 1900）

3～4人分(300g)で600円 ふれあい倉庫で買えます。

手品は継承芸にあらず!

アルバトロス 高橋明仁 デンカさん

職業 マジシャン



2009,11,14(土) 15時~
大成寺 堂々公演

道内でも 10 人程度と言われるプロのマジシャンにマジックの魅力を語ってもらいました。

このコーナーで芸名での登場は初めてなんですが、名前の由来と手品について教えてください。

師匠が「バーディーコヤマ」と言います。ゴルフされている方はお判りと思いますが、バーディーの上のスコアをアルバトロスと言うことと、本名が明仁で現在の天皇陛下と同じなんです。以前は皇太子殿下と一般にお呼びしてましたから「デンカ」と呼ばれるようになりました。

学校を卒業した後、義足や義手などの医療器具の販売をするサラリーマンになりましたが、ある時お得意先の整形外科の先生と札幌のマジックバーに行き、一瞬でその面白さにハマったんですね。そこで師匠と出会い、手品の道具を製作する会社を興したんです。そ

のうちいつの間にかステージに立っていたって感じです。

誰も 教えてくれないんですよ。師匠いわく、「手品は継承芸ではない」と、自分のキャラクターも考えながらいろいろな演出をアレンジしてみる。目をつぶってやれるまで練習しなければ人前では出来ませんね。相手の性格などを考えながらショーの流れを計算していく。しゃべりは非常に重要です。

今後の活動は?

2 年前から「エゾ・サリヴァンショー」という企画を行っています。昔、アメリカで大人気のテレビ番組「エドサリヴァンショー」にあやかり、道内外の様々な芸人が集い、

ここから北海道の芸人が巣立っていくようなビッグイベントを当別町でやろうと準備を進めています。青年会議所の方々などの協力で11月14日に大成寺で、自分を含め講談師、ハイパーヨーヨー、似顔絵パフォーマー、ピエロ、音楽など7組の芸人が様々な芸を披露しますので、ぜひ見に来てください。

話を聞きながらもカードマジックをいくつか見せて頂いた。自分が選んだカードを見事に当てる。動かす。まるでカードが生きているかのように。騙されているんだけど楽しい。マジックは頭の体操でもあり文化だな。と感じた。

高橋明仁 (東町在住)

■ ふれあい倉庫情報

【カルチャーホール】

「くらしの総合講座～薬と上手に付き合うために」

▼日時 10月9日(金) 10時～12時

▼講師 北海道消費者協会 小林孝子さん

▼主催・問合せ 町消費者協会 下段 (☎ 23 - 2706)

「千草屋 まつり」千草屋で製作された作品の展示

▼日時 10月28日(水)・29日(木) 10時～17時

▼主催・問合せ 千草屋事務所 (☎ 23 - 3417)

【多目的ホール】

「笠井嗣夫写真展 当別の四季～別天地がここにある～」

▼日時 10月7日(水)～12日(月) 10時～18時

※最終日のみ 17時まで

▼問合せ 笠井 (☎ 090 - 8636 - 7253)

「劉連仁物語～当別の山中から～」 絵本原画展

▼日時 10月14日(水)～18日(日) 9時～18時

※最終日のみ 16時まで

▼主催・問合せ グループ亜麻の会 (☎ 22 - 2362)

「シルバーのパネル展」

▼日時 10月20日(火) 9時～17時

▼内容 パネル展、無料包丁研ぎ (10時～14時)

▼主催・問合せ 町シルバー人材センター (☎ 22 - 4191)

「中川久雄絵画塾 塾生秋の作品展」

▼日時 10月25日(日)～30日(金) 10時～18時

▼内容 油彩・水彩など約50点を展示

▼問合せ 中川 (☎ 22 - 3675)

「文化祭 菊花展」

▼日時 11月1日(日)～3日(月)

▼内容 菊の花の展示など

※詳しくは新聞折込チラシで確認ください。

▼申込み 町社会教育課(総合体育館内) ☎ 22 - 3834

「ふれあいバスまつり協賛 ふれあい倉庫感謝祭」

▼日時 10月4日(日) 10時～15時

※詳しくは新聞折込チラシで確認ください。

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)
商工課 (☎ 23 - 3129)

続

町長の日記

平成21年9月13日(日)

今日は「亜麻そば祭り」に行ってきた。

札幌北区の麻生地区総合センターで「亜麻そば祭り」という催しが開かれて招待された。

実は最近、亜麻が静かなブームになりつつあるので少し勉強してみた。

原産地は中央アジアと言われ、人類が最初に用いた繊維植物として茎には絹にも似た優美さがあり、古い時代にはヨーロッパの貴族階級の調度品にも使用されたらしく、日本の万葉集にも登場するが北海道では、ハッカ・ラベンダー等と並ぶ特用作物で軍服など軍需品として好況だったが、終戦後は化学繊維が台頭して消えてしまったという事が判った。

然し、亜麻の種子には保健機能が注目される栄養素が入っていると判り、当別では8年程前から北国の爽やかな微風にも舞い踊り、朝咲いて夕方には散る薄紫の可憐な花をつけた亜麻の姿が当別の農村に新しい躍動を起すと感じ取って復活させた人が東裏にいた。

6月に新琴似駅前で実施された「亜麻のフラワーロード」と言う事業に当別からも亜麻の苗を持って行き、私も少しばかりお手伝いした。これは、JR学園都市線を当別まで亜麻で繋ごうという連携事業でした。

7月には当別の旧東裏小学校で、町内会長の大塚さん達が亜麻祭りを開催した時、歌唱コンクール「亜麻色の髪の乙女」などに札幌から1,700人ほどの人が来てくれた。そのお礼もあって麻生地区の商店街振興会が主催するお祭りに参加したと言う次第である。

現在、日本中で当別町が亜麻を一番多く栽培している事と、その昔、麻生も当別も亜麻工場があった事も縁で交流が盛んになりつつあり、本当に嬉しい。

亜麻そば祭りの会場には亜麻の入った“そば”だけでなく、亜麻仁油や亜麻和紙人形展や亜麻の織物作品展などに沢山の人が集まっていて、とても珍しい祭りだった。

折りしも学園都市線電化のニュースが入って来て亜麻の強い繊維が石狩川を乗り越えて、両地区をしっかりと繋いでくれる気がして楽しい一日だった。

当別町長 泉亭俊考

セミナー

「地域ブランドづくりセミナー」を開催します

地域の魅力を活かして付加価値の高い当別ブランドの商品づくりを目指し、元ホテルクラビーサッポロ料理長をお招きし、食を通じた地域おこしの事例を聞きます。

▼日時 10月23日(金) 14時～

▼場所 町総合福祉センター「ゆとろ」多目的ホール

▼講師 ヌキタ・ロフィスト代表 貫田桂一氏

▼演題 「地域食材を活かした当別ブランドづくり」

▼問合せ・申込み

10月19日(月)までに経済部商工課(☎23-3129/FAX23-3206/Eメール syokan@town.tobetsu.hokkaido.jp)へ氏名、住所、電話番号をご連絡ください。

お詫びと訂正

広報当別7月号No670号13ページ下段に掲載の「障害福祉サービス、地域生活支援事業の利用者負担額軽減基準が変わります」の記事について表題と内容に相違がありました。

正しくは「特定疾患医療受給者証等の更新申請について」であり、関係の皆様にはご迷惑をおかけしました。

訂正し、お詫び申し上げます。

奨励金

事業と雇用を承継する事業主を支援します！

倒産や廃業、事業所の閉鎖など事業の継続が困難になった企業から、事業または施設・設備を承継するとともに、その企業から従業員を5名以上正社員として雇い入れた場合に、一定額を助成します。

▼奨励金

対象労働者1人当たり中小企業者50万円、最大対象労働者50人分まで(限度額 2,500万円)

▼問合せ

北海道経済部労働局雇用労政課雇用承継奨励金担当(☎011-204-5353)

火葬場

みどりヶ丘葬苑(火葬場)を休止します

みどりヶ丘葬苑の改修工事に伴い、11月30日まで施設を休止します。

休止期間の火葬は、江別市葬斎場(江別市対雁100番地4)にて代替実施します。

なお、江別市葬斎場を使用する場合でも、手続きは従来どおり当別町役場窓口で行います。

▼詳細 環境生活課環境対策係(☎23-2503)

税金

住民税を納付されている65歳以上の年金受給者の方

平成21年10月支給分の年金から住民税の引き落とし(特別徴収)が始まります。

この制度の導入により、役場や金融機関などに出向くことなく、住民税が年金からの自動引落とし(特別徴収)となり、納付忘れを防ぐことができます。なお、引き落とし(特別徴収)される税額については、6月に送付した「納税通知書」に明記されていますので、ご確認ください。

▼問合せ 税務課(☎23-2332)

困ったときの納税Q&A

Q 送付された納付書を紛失してしまいました。納付するにはどうすればよいのでしょうか？

A 納付書がない場合、納税課窓口にお越しください。その場で再交付することができます。都合により来庁できない時は、ご自宅などへ納付書を郵送いたしますのでご連絡ください。

▼夜間納税相談

毎月第2・4木曜日 19時30分まで

▼問合せ 納税課(☎23-2341)



第60回 全国労働衛生週間 10月1日から7日
「トップが決意 みんながつくる 心の健康・明るい職場」

後期高齢者医療制度のお知らせ

75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障がいのある方

◆高額介護合算療養費の申請について

医療保険上の世帯を単位として、「お医者さんにかかったときの自己負担額」と、「介護保険のサービスを利用したときの利用者負担額」の1年分の自己負担額を合算した金額が、この制度の基準額を超えると、超えた分が高額介護合算療養費として支給されます。

支給額は、後期高齢者医療制度と介護保険で支払った自己負担額の割合に応じて、それぞれの保険者から支払われます。

区 分		自己負担・利用者負担の合計の基準額
現役並み所得者		67万円 (89万円)
一般		56万円 (75万円)
住民税非課税世帯	区分Ⅱ	31万円 (41万円)
	区分Ⅰ	19万円 (25万円)

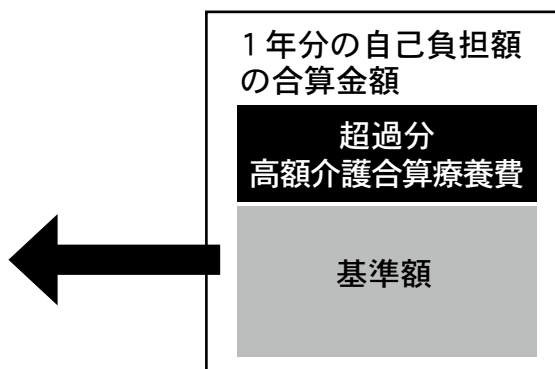
※支給額が500円未満の場合は、支給されません

※所得区分は毎年7月31日現在の窓口負担割合が適用されます。

通常、毎年8月からその翌年の7月末までの医療保険と介護保険の自己負担額の合計をもとに計算しますが、平成20年4月から制度が開始されたため、平成20年度に限り、平成20年4月から平成21年7月末の16か月間の合計額で計算することができます。その場合の自己負担額の合計の基準額は、()内の金額です。

お医者さんにかかったときの自己負担額 + 介護保険のサービスを利用したときの利用者負担額

Ⅱ (イコール)



《申請手続き》

支給の対象となる方へは、12月以降に申請手続きのご案内をします。

ただし、平成20年4月から平成21年7月の間に市外から転入された方や75歳に到達された方等の場合、以前の医療保険や介護保険での自己負担額証明書とともに役場国保・後期高齢者医療係へ申請が必要です。

◆保険料のお支払い方法の変更について



昨年10月以降、年金からの保険料のお支払いがなかった方は、今年度の保険料のお支払い方法が年度途中で変わります。

平成20年度の保険料のお支払いが、保険料軽減措置(均等割8.5割軽減、所得割5割軽減)により平成20年8月の年金からのお支払いをもって、年間保険料のお支払いが終わっていた方が、今年度の

保険料を年金からのお支払いとされている場合は、9月までは納入通知書又は口座振替によるお支払いとなり、10月からは年金からのお支払いへと年度途中で変わりますので、ご注意ください。

▼問合せ

北海道後期高齢者医療広域連合
(☎ 011 - 290 - 5601)

当別町役場住民課国保・後期高齢者医療係
(☎ 23 - 2467)

福祉

開催します 北海道障がい者 タウンミーティング

今年3月31日に公布した「北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例」の本格施行に向けて、障がい当事者をはじめ広く道民の意見を聞き、検討に反映させるため、保健福祉事務所圏域ごとにタウンミーティングを開催します。参加無料です。

▼テーマ

障がい者の権利擁護と暮らしやすい地域づくりを目指して

▼日時

11月8日(日) 午後1時から

▼会場

道庁別館地下大会議室

(札幌市中央区北3条西7丁目)

▼申込方法 10月19日(月)までに下記連絡先まで申し込みください。

▼問合せ・申込先

福祉課障がいサービス係

(☎ 25 - 2665)

急募

募集します 町非常勤保健師

健康相談や健康診断など、保健指導業務に従事していただく保健師または助産師、看護師を募集します。

▼勤務期間

平成22年3月31日まで

▼勤務時間

週29時間以内

▼勤務内容 保健指導業務(家庭訪問・健康教育・健康相談・健康診査等)

▼報酬

月172,200円

▼募集人数

1名

▼詳細・申込み 福祉課保健サービス係(ゆとろ内・☎ 23 - 2346)

健康

参加しませんか 当別町健康づくりセミナー

今回は、歯を丈夫に美しく保つ大切さやその秘訣についてお伝えします。また、唾液を使って「歯周病チェック」も体験できます。是非ご参加ください。

▼日時

10月30日(金)

13時～15時

▼会場

ゆとろ

▼参加料

無料

▼持ち物

筆記用具

▼内容

「歯を健康に保つには」

北海道医療大学歯学部

教授 千葉逸郎氏

助教授 角館直樹氏

▼申込締切

10月23日(金)

▼問合せ・申込み

ゆとろ内保健サービス係

(☎ 23 - 2346/FAX 25 - 5018)

学習会

パーキンソン病家族学習会

パーキンソン病について、ご家庭でできるリハビリについての学習会を開催します。参加無料です。

▼日時

11月10日(火) 14時～

▼対象

パーキンソン病の方とその家族

▼講演テーマ・講師

「家庭でできるリハビリテーション」

～パーキンソン病の特性をふまえて～

空知保健福祉事務所

山内克泰 理学専門員

▼会場

江別総合社会福祉センター

2階研修室(江別市錦町14)

▼問合せ・申込み

江別保健所子ども・保健推進課

保健予防係(☎ 011 - 383 - 2111)

あそびのひろば

☆10月の日程☆

時間は全て10時から11時30分

▼こりすうさぎ(1歳6か月～就学前)

会場 ゆとろ(全て火曜日)

6日・13日・20日・27日

(6日は福祉ターミナル)

27日は「人形劇を見よう」を開催します。

▼キャロット(1歳6か月～就学前)

会場 ふとみ保育所(全て水曜日)

7日・14日・21日・28日

▼ミニトマトクラブ(乳児支援)

8日(木) ゆとろ

22日(木) ふとみ保育所

▼サロン(0歳～就学前対象)

わんぱくサロン(子どもハウス)

毎週月・水曜日(12日は祝日のためお休みします。)

すみれサロン(ふとみ保育所)

毎週金曜日

▼詳細・申込み 子育て支援係

(ゆとろ内・☎ 25 - 2658)

医療

特定不妊治療費助成事業の 助成額拡大について

北海道では、特定不妊治療を受けている方の経済的な負担の軽減を図るため、特定不妊治療費助成事業を行い、従来助成限度額の10万円から15万円に拡大することとしました。(平成21年度限定)

平成21年度に特定不妊治療費助成事業の申請を既に行った方で、10万円以上の特定不妊治療費がかかった方も追加申請をすることで4月1日に遡って10万円を超えた額の助成(最大5万円)を受けることができますので、下記あてにお問い合わせください。

▼問合せ・申込み 江別保健所子

ども・保健推進課子ども未来係

(☎ 011 - 385 - 0115)

ストップ ザ STOP THE インフルエンザ!

まずは予防接種で!

高齢者へのインフルエンザの発病予防と重症化を防止するため予防接種を実施します。町発行の健康手帳をお持ちの上、受診してください。

▼実施期間 10月より12月31日(木)までの期間で町内医療機関の診療日

▼対象 ①65歳以上の方 ②60歳以上65歳未満の方で心臓・腎臓・呼吸器に重い障害(身体障害者手帳1級程度)のある方

▼接種料金 1,000円

ただし、生活保護受給世帯の方は自己負担額が免除になりますので「生活保護決定通知書」を提示ください。

▼実施町内医療機関

健康広場(22ページ)「町内医療機関」に掲載しています。

※医療機関へは事前に電話で予約を入れてください。

※入院中、入所中など町外の医療機関での接種を希望の方は、保健サービス係までお問い合わせください。

おうちでできる予防対策!

新型インフルエンザが全国的な流行期に入り、道内各地で発生しています。今秋以降、新型インフルエンザと季節性インフルエンザの双方が流行することが懸念されています。町民一人ひとりが感染の予防対策をすることで、感染の急速な拡大や流行を避けることができますので、ご協力願います。

【予防対策】

○せきエチケット(せき、くしゃみが出る場合にはティッシュ、ハンカチなどで鼻や口を押さえる)

○外出するときはマスクを着用し、帰宅後のうがいや手洗いを必ず行う。

○できるだけ、人ごみをさける。

○十分な栄養と休養をとる。

○適切な温度や湿度を保つ。

この他にも新型インフルエンザに関する情報は町ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

▼問合せ 福祉課保健サービス係

(ゆとろ内 ☎ 23 - 2346)

○●(年金)○●

読んで得する年金・国保のお話

○●(国保)○●

【忘れてませんか!老齢福祉年金】

老齢福祉年金の受給資格者の方は、必ず申請を行ってください。

老齢福祉年金の受給資格は

①生年月日が明治44年4月1日以前の方

②生年月日が明治44年4月2日から大正5年4月1日までの方で、定められた納付要件を満たしている方。

なお、他の公的年金受給を受給されていたり、一定の所得がある場合には支給の全部または一部が停止されます。ご不明の点がありましたら分りやすく説明をしますので、戸籍年金係へご連絡ください。

■役場窓口年金相談日

10月5日(月)・26日(月)〈戸籍年金係窓口〉

■年金保険相談所の開設

主催 札幌北社会保険事務所

日時 10月20日(火)10時~15時

場所 商工会館(錦町)

※年金保険相談に代理人の方が行く場合は、委任状・身分証明書が必要です。

【10月1日から出産育児一時金が変わります】

当別町国民健康保険に加入されている方が21年10月1日以降に出産されたとき、出産育児一時金は、原則42万円に上げます。

(9月30日までは、原則38万円)

【出産費用の直接支払制度が始まります】

21年10月1日以降の出産に係る費用は、原則42万円まで当別町国民健康保険から病院等に出産育児一時金を直接支払う制度です。直接支払制度の利用を希望される方は、病院等に申出てください。

事前に多額の現金等を準備する必要がなくなります。

出産に係る費用が42万円にならなかったときやご不明な点については、役場国保・後期高齢者医療係にお問い合わせください

▼国保・後期高齢者医療についての問合せは

住民課国保・後期高齢者医療係(☎23-2467)

▼年金についての問合せは

住民課戸籍年金係(☎23-2463)

園児募集

募集します 当別幼稚園児

▼募集園児

4歳児 平成17年4月2日から
平成18年4月1日生まれの子

5歳児 平成16年4月2日から
平成17年4月1日生まれの子

▼募集人数

4歳児 60人 5歳児 26人

▼申込方法

入園願書を11月9日(月)までに当別幼稚園へ提出してください。願書は、10月26日(月)から当別幼稚園、西当別コミュニティーセンターで配布します。

▼面接日時

当別地区にお住まいの方

11月19日(木)13時～15時

西当別地区にお住まいの方

11月20日(金)13時～14時30分
会場は当別幼稚園(北栄町)です。

▼保育料

入園料 4,000円

保育料 8,900円(月額)

▼入園許可 12月中旬に文書でお知らせします。

▼その他

平成23年4月からは、民間事業者による「認定こども園」に移行し保育所と幼稚園の機能を併せ持つ新たな施設となります。(入園料・保育料等については別途お知らせします。)

▼問合せ

当別幼稚園(☎23-2567)
または町教委学校教育係
(☎23-2689)



発表会

「当別町少年の意見発表会」 高校生の部発表者募集

11月21日(土)に「当別町少年の意見発表会」を開催します。

日頃から人生や家庭、学校生活や社会などに思いを持っている高校生の方は是非、お申込みください。

▼募集対象 町内在住で町外の高校に通う方(3名以内・応募多数の場合は抽選)

▼意見発表文提出期限

10月30日(金)

▼意見内容 自由課題とし、家庭、学校、地域社会及び友人との関わりの中で、日頃から感じ考えている自分の思いを表現したもの(発表時間5分以内)

▼申込み 社会教育課(白樺コミュニティセンター内・☎23-2511)

読書の秋

親子で本とふれあいませんか 秋の読書週間

期間中楽しいイベントも用意して皆様のご来場をお待ちしています。

▼会場 学習交流センター

西当別コミュニティセンター
図書室

▼日時 10月25日(日)～

11月8日(日) 10時～17時
その他にもお話会、折り紙あそび、図書室カウンター業務の体験などもできます。

▼イベント

幼児・小学生を対象としたアフリカンドラムの演奏と絵本の読み聞かせ

・日時 10月25日(日)10時～

・場所 西当別コミュニティセンター

▼詳細 社会教育課(学習交流センター内・☎23-0573)

当別町福祉のまちづくり 勉強会 3days を開催

当別町でのまちづくり勉強会実行委員会が主催して福祉をテーマにまちづくりを勉強しようとして10月11日(日)・12日(月)・11月29日(日)の3日間、「当別町ふくしのまちづくり勉強会 3days」を開催します。

◆イベントプログラム

1日目：10月11日(日)

①映画「降りてゆく生き方」上映
時間 10時～12時

会場 ふれあい倉庫

②講演「降りてゆく生き方」

北海道医療大学教授 向谷地生良氏
時間 13時30分～15時

会場 白樺コミュニティセンター

③講演「福祉が変わるまちが変わるー真の豊かさへの挑戦ー」

大熊由紀子氏
(国際医療福祉大学大学院教授)

時間 15時30分～17時30分

会場 白樺コミュニティセンター

2日目：10月12日(月)

①講演「老いの支度をするということ」

石黒秀喜氏(財)長寿社会開発センター常務理事

時間 10時～12時

会場 白樺コミュニティセンター

3日目：11月29日(日)

①講演「人権を守るといふこと～障がいのある人もない人も暮らしやすいまちに～

野沢和弘氏

毎日新聞論説委員

時間 13時30分～15時

会場 ゆとろ

▼参加料 町民の方は映画上映のみ500円、講演会は無料です。受付で町民であることの証となるものをご提示ください。

町外の方は料金が異なります。

定員300名、先着順です。

▼申込み・詳細

同実行委員会事務局(NPO法人 ゆうゆう24・☎25-5137)

芸術の秋を楽しみませんか 当別町文化祭



◆日程 11月1日(日)～3日(火・祝)

◆会場 西当別コミュニティーセンター
・舞台発表部門・総合展示部門
・ピアノコンサート(11月8日)
ふれあい倉庫
・菊花展

町内の芸術家たちの発表と数多くの力作が展示されますのでご来場ください。発表・展示内容は決まり次第チラシ・ポスター等でお知らせします。

また、舞台発表と展示参加希望者の申し込みも受け付けておりますので、希望の方はお申し込み願います。



▼発表・展示一般参加申し込み

10月15日(木)までに白樺コミュニティーセンター、西当別コミュニティーセンター、総合体育館に設置の申し込み用紙に所定事項ご記入の上お申し込み願います。※展示部門の出展は1人2点まで

▼問合せ・申込み

社会教育課社会教育係
(総合体育館内・22-3834)
西当別コミュニティーセンター
(☎26-3300)

ご寄付 ありがとうございます



商工会青年部から町教育委員会へ、8月13日に開催されたビアパーティーの売り上げ金から10万円分の図書券のご寄付をいただきました。今回のご寄付は、町内3校の小学校への図書購入に活用させていただきます。

スウェーデンヒルズ みんなの作品展

年に1度交流センターガラス工芸工房、木材工芸工房の作家の作品や工芸教室に通う皆さん、ヒルズに在住の方の作品を中心に日頃の成果を楽しむ展示会です。

▼期間

11月4日(水)～11月8日(日)

▼時間

10時～16時30分
(最終日は15時まで)

▼会場

スウェーデン交流センター2階
スウェーデンの絵本原書と「ウォルドルフ人形の四季」展も10月12日(月)まで開催中です。

▼問合せ スウェーデン交流センター (☎26-2360)

地域オープンサロン 1日コックさん 今月の出店者・メニュー



☆2(金) スズランミニテニス・ババキッチン

カボチャコロケ定食 500円

☆9(金) ねこ&(赤)くらぶ

ピザランチ 500円

☆20(火) 津崎里美さん

から揚げ定食 500円

☆21(水) 当別町生活改善実践グループ連絡協議会 豚丼〜たっぷり食べよう野菜 600円

☆22(木) 北栄町そば食べ隊

北栄町そばランチ 600円

☆27(火) 弥生さくら館さぼーと隊

特製カレーランチ 500円

☆28(水) 京美華彩さん

ヘルシー和風ランチ 600円

☆29(木) 春日町婦人部

ミニバイキング 500円

☆30(金) 熊坂貴子さん こだわり

ヘルシーベジランチ 550円

▼詳細 共生型地域オープンサロン

(☎22-0775)

◎ボランティア募集◎

●配食サービスボランティア

高齢者のお宅に、夕食をお届けしながら安否の確認をする活動です。

▼募集日 (月1回) の15:30～1時間半程度

●1日コックさんボランティア
地域オープンサロンでの障がいのあるスタッフのサポート(調理・配膳など)

①10月20日(火) 2名
②10月28日(水) 1名
いずれも10時～13時30分

▼連絡先

ボランティアセンター
(☎22-0400)

北海道医療大学構内に 北方系伝統薬物研究センターがオープン



「北方系伝統薬物研究センター」は、同大学植物園の隣に道内初の薬用植物の研究施設として建設され、1階は薬草の標本などの展示、2階は主に研究スペースが備えられています。

1階の資料室では、約40名を集めて講義をすることができるほか、生薬や漢方薬原料など約1,200本の標本が展示され、においを嗅ぐこともでき、薬草の特徴を細かく調べることができます。

また、展示している薬草のデータをデジタル化することで、パソコンや携帯電話を使って誰でもすぐに検索をすることができる環境作りを進めています。

このほかに、染色などの体験スペースもあり、10人くらいが集まって薬物を体験することもできます。

2階の研究スペースには、無菌状態を作り出せる機械や遺伝子分析装置などを用意し、様々な環境下で植物を栽培、培養あるいは分析ができるようになっています。北海道医療大学の関崎春雄教授は「町民の方にも気軽に利用していただき、薬草に興味を持つきっかけになってほしい」と話してくれました。



見学や体験を希望する方は、せきざき関崎春雄 教授
(☎ 23 - 3791) までご連絡してください。

広 告

相 談

法律相談 町の顧問弁護士が、皆様の相談に応じます。

▼日時 10月1日(木)
11月5日(木)
13時30分～

▼申込 福祉係 (☎23-3019)

介護相談 介護や高齢者虐待に関する相談に応じます。

▼日時 月～金曜日
8時45分～17時15分

▼申込み 地域包括支援センター
(☎25-5152)

心配ごと相談

心配や悩み相談を受け付けます。
(毎月第4木曜日)

▼日時 10月22日
13時～16時

▼申込み 社会福祉協議会
(☎22-2301)

消費生活相談 契約トラブルや消費生活に関する相談に応じます。

▼日時 月～金曜日
8時45分～15時

▼場所 町民生活係窓口(役場1階)
(☎23-3209)

寄 付

☆当別町社会福祉協議会へ

- ▼袴田和人さんより 5万円
- ▼田中信雄子さんより 3万円
- ▼河野房子さんより 3万円
- ▼匿名の方より 2万円
- ▼町ボランティア協議会より 16,870円
- ▼福祉まつり飲食部より 13,000円
- ▼折り紙サークルオーリーブより 4,844円
- ▼弥生ボランティア虹の会 2,000円
- ▼大乘寺婦人会より 雑巾 250枚

☆当別町教育委員会へ

- ▼当別町商工会青年部より
図書カード 10万円分



ありがとうございました

交通安全情報

危険！町内で交通事故が増加

町内の死亡事故は、昨年1件でしたが、今年には既に2件発生しています。ハンドルを握ったら十分な安全確認と速度の出しすぎに注意！
(平成21年8月末の交通事故累計)

	H 21 年	H 20 年	増減数
発生件数	4 1	5 4	- 1 3
死者数	1	1	0
傷者数	5 9	8 0	- 2 1

■人の動き 9月1日現在 ■ () は前月との比較

人口	18,932 人	(13人減)
世帯	7,746 世帯	(15世帯増)
男	9,225 人	(16人減)
女	9,707 人	(3人増)

◎自衛官募集◎ 平和を、仕事にする。 陸海空自衛官募集

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日
自衛隊生徒 入校日：平成22年4月上旬	中卒(見込含)17歳未満の男子	11/1(日)～平成22年1/8(金)必着	平成22年1/23(土) ※2次試験あり
2等陸・海・空士(男子)	18歳以上27歳未満の者	年間を通じて	受付時にお知らせします
▼詳細 自衛隊札幌地方協力本部江別地域事務所 (☎011-383-8955) 役場環境生活課町民生活係 (☎23-3209)			

広 告

HOT

コミュニケーション

育成会対抗ティボール大会



町子ども会育成連合会が主催するティボール大会が開かれ、町内の育成会6チームが参加し、熱戦を繰り広げました。野球よりもルールが単純で、誰でも楽しめる競技です。

優勝は、春日町育成会チームでした。
(8月23日)

スポーツ少年 全国大会へ



今夏、各スポーツの全国大会で活躍された小中学生がその報告に役場を訪れました。

各個人の成績を掲載します。

- ・須藤友希さん(西当中3年) 全国中学校ゴルフ大会に出場
- ・阿部由季さん(西当中3年) 全国中学少林寺拳法大会に出場
- ・真田涼太君(西当小5年)、真田玲菜さん(西当中3年)は、全国少年フェンシング大会に兄弟で出場し、真田玲菜さんは中学生女子の部で準優勝しました。

(8月27日)

当別歴史学講座



当別の開拓の歴史を分りやすく町民に知ってもらおうと「当別歴史ボランティアの会」が歴史講座を開催しました。

第1回目のテーマは「戊辰戦争と伊達岩出山領当別への移住」と題してノンフィクション作家の合田一道氏が移住にいたった歴史的背景、開拓のエピソードを講演。会場からはとても興味のある話で今後のシリーズも楽しみとの感想も聞かれました。講座は来年3月まで計8回開催されます。

(8月29日)

広 告

スウェーデンヒルズ初の防災訓練



スウェーデンヒルズ地区が土砂災害警戒区域に指定されてから同地区で初めて土砂災害を想定した防災訓練が実施されました。

スウェーデン交流センターでは、防災に関する講習会も行われ、防災関係者や住民約90人が集まり、危険箇所での心構えを学びました。

また、防災情報のパネル・防災資機材の展示も行い、災害時の心構えや緊急避難の手順を確認した他、参加者は保存食や防災グッズにも関心を寄せていました。

(9月13日)

社会貢献賞(知事表彰)受賞



石狩地方食品衛生協会副会長で当別支部長を務める田中範義さん(弥生在住)に北海道知事より社会貢献賞が贈られました。

田中さんは、昭和63年から食品衛生協会の指導員として食中毒予防啓発事業、食品の安全に関する情報提供など、町の食品衛生の向上と関係者の指導育成に大きく貢献され、その実績が認められました。札幌市内での受賞式では、「食中毒ゼロを目指して新たな気持ちで頑張りたい」と語りました。

(9月11日)



広 告

健康ひろば 10月の予定

各種健診

健診名	受付日時 / 場所	対象・内容	
乳幼児 1歳8か月・ 3歳児健診	2 金 13:00～14:00 ゆとろ	個別通知 しています	
	23 金 13:00～14:00 西コミ		
	歯科健診・フッ 素塗布	13 火 13:00～15:00 ゆとろ	1歳～小学校就学 前まで。要予約
各種健診 子宮・乳がん 検診	16 金 8:45～14:00 ゆとろ	個別通知してい ます	
	肝炎ウイルス 検診	町内委託医療機関 で随時実施	B・C型肝炎 ウイルス検査
	後期高齢者健診	予約の上、受診くだ さい	75歳以上の方
	特定健診		40～75歳未満の方

※特定健診は、江別市立病院、北海道医療大学病院
(あいの里)の医療機関でも実施します。

予防接種

種類	受付日時 / 場所	対象
ポリオ	8 木 13:00～13:30 ゆとろ	生後3か月から90か月 までの子と昭和50年から
	9 金 13:00～13:30 西コミ	52年生まれの今回ポリオ を接種する子の保護者。
	21 水 13:00～13:30 ゆとろ	母子手帳を持って直接会 場にお越しください。
DPT、DT、 麻疹風疹混 合ワクチン	随時個人で接種可。右記医療機関へ予約の上、 母子健康手帳を持って受診ください。	
(高齢者) インフルエン ザワクチン	随時個人で接種可。(12月31日まで) 右記全医療機関及び当別整形外科 ☎25-5040のいず れかへ予約の上、健康手帳を持って受診ください。	

■各種健診・予防接種についての詳細・申込み

福祉課保健サービス係 (ゆとろ内・☎23-2346)

■特定健診・後期高齢者健診についての詳細・申込み

住民課国保・後期高齢者医療係 (☎23-4044)

つどい

事前申し込みが必要です

つどい名	日時 / 場所	対象
友遊会 (当別地区)	19 月 10:00～13:00 ゆとろ	高齢の方で外出の 機会が少なくなっ ている方
かすみ草の集い (西当別地区)	20 火 10:30～14:30 西コミ	
断酒会	第1・第3月曜 18:00～21:00 ゆとろ	お酒で悩んでいる 方・家族
身体障害者 カラオケの会	13 火 13:00～17:00 ゆとろ	障害者の方 どなたでも

▼申込み 友遊会・かすみ草の集い

保健サービス係 (☎23-2346)

断酒会 日中 (江別保健所・☎011-383-2111)

夜間 (工藤・☎22-2510)

身体障害者カラオケの会 社会福祉協議会

(ゆとろ内・☎22-2301)

各種相談

相談名	日時 / 会場 / 申込み等
健康相談	28 水 9:30～11:30 会場 / ゆとろ 申込み / 保健サービス係
心の健康相談 【心の悩みについ て専門医が相談】	23 金 13:30～16:00 会場・申込み 江別保健所 (☎011-383-2111)

町内委託医療機関

肝炎ウイルス検診、特定健診、

後期高齢者健診は全ての医療機関で実施

医療機関名	電話番号	予防接種
勤医協当別診療所	23-3010	○
近藤医院	23-2021	○
さわぎき医院	25-2055	○
スウェーデン通り内科 循環器科クリニック	25-3151	○
とうべつ内科クリニック	22-1313	
堀江病院	22-3111	
北海道医療大学 歯科内科クリニック	23-1604	

広 告

急病当番医（内科系）

- ◆ 平日 19時～21時
- ◆ **土曜** 14時～17時
- ◆ **日曜・祝日** 9時～12時・14時～17時

日	月	火	水	木	金	土
				10/1 堀江	2 さわぎ	3 とうべつ
4 近藤	5 勤医協	6 堀江	7 堀江	8 堀江	9 勤医協	10 スウェーデン
11 とうべつ	12 近藤	13 堀江	14 堀江	15 堀江	16 堀江	17 勤医協
18 スウェーデン	19 さわぎ	20 近藤	21 堀江	22 堀江	23 堀江	24 堀江
25 堀江	26 堀江	27 堀江	28 堀江	29 堀江	30 堀江	31 勤医協
11/1 スウェーデン	2 さわぎ	3 とうべつ	4 近藤	5 堀江	6 堀江	7 堀江
8 勤医協	9 スウェーデン	10 さわぎ	11 とうべつ	12 近藤	13 堀江	14 堀江

■江別市夜間急病センター（江別市錦町 14 番地 5）

内科・小児科の急病の方の診察をします。
 応急対応をします。薬は 1 日分の処方です。
受付時間 19時～翌朝 6 時 30 分（年中無休）
☎ 011 - 391 - 0022

■北海道救急医療情報システム

受診可能な病院を検索できます。
☎ 0120 - 20 - 8699
☎ 011 - 221 - 8699（携帯電話から）
 FAX 011 - 272 - 8699
 URL <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>

【11月の予定】

6	金	4 か月・10 か月児健診	ゆとろ	13:00～14:00
6	金	BCG 予防接種	ゆとろ	14:00～14:30



いきいき
健康生活

歯を大切にしましょう

歯周病は、歯を支えている骨（歯槽骨）が溶けてしまう病気です。日本人の 35 歳以上の約 8 割が歯周病だと言われています。

歯周病になってしまうと歯周病の初期の段階では歯を磨くときに血が出たり、歯がムズムズするといった症状しかありません。そのため、この状態で長時間放置されることが多く、症状が進行すると、歯の土台である歯槽骨がポロポロになり、歯がグラグラし、食べ物をかむ時に痛みを感じるが多くなります。そして、最終的には食事でも満足にできなくなってしまい、歯を抜くことになってしまいます。

- 歯ぐきが腫れている
- 歯を磨くと血が出る
- 口臭が強い
- 歯のすき間が広がって見える
- 歯がぐらぐらする。

ひとつでも当てはまれば、歯周病の可能性があります。早めに歯科医へ行きましょう。

また、ゆとろで行われる健康づくりセミナーをでは、医療大学の先生による講演と唾液でできる歯周病の無料チェックを行います。食べること、話すことに欠かせない大切な口の健康について、この機会に学んでみませんか。

詳細は 14 ページのお知らせをご覧ください。

▼詳細 福祉課保健サービス係
 （ゆとろ内・☎ 23 - 2346）

広 告

Town Topics

タウン トピックス

まちの話題

広報誌で紹介した写真または
データを希望者に提供します。
お申し込み
情報課広報広聴係 (Tel.23-3069)



ふれあいスポーツ大会

9月1日 総合体育館

町内のお年寄り約500人がスポーツ大会で汗を流しました。町老人クラブ連合会が中心となり民生児童委員の協力などによる実行委員会が主催で、今年で24回を数えます。

地区の老人クラブ単位で編成され、6チームに分かれた選手の皆さんは、10種類の競技に参加。ジャンケンでリレーする「関所やぶり」では、普段には見られないハッスルぶりに、会場からは熱い声援が送られました。



おためし暮らしで農家巡り

8月25日 町内生産者

道外から町内に短期間生活体験する「おためし暮らし」の参加者13名が、町長自らのガイドで町内の農家を巡り、普段知ることのできない農家の生活や農業経営について直接生産者の声を聞きました。

参加者からは「これだけ新鮮な野菜を食べられる当別は羨ましいですね。当別の農産品のファンになりました。」との感想もあり、一緒に参加した当別ウェルカムガイドの皆さんもあらためて、「自分が住んでいる町の良さを教えていただいた。」と感想を話していました。



福祉まつりに水戸黄門！

9月5日 ゆとろ

町内で福祉に携わっている方が福祉への理解を深めてもらおうと、「福祉まつり2009」が「ゆとろ」で開催されました。イベントには、北海道医療大学の学生約70名も参加し、町民とのふれあいを楽しみました。

町民の有志と同大学の学生が協力して演じた「時代劇・水戸黄門」では、小学5年生の児童が黄門様に扮し、ユーモアたっぷりの内容に会場から大きな笑い拍手が贈られました。